氏名 病名: 症状: 年 月 H 術後 手術後 術後1日目 経過 入院·手術前日 手術前 術後2日目 術後3日目 術後7日目 退院日 4~6日目 退院療養計画書 月 日 【退院基準】 退院日(予定) ・尿の管を抜いた後、排尿がある 【手術前】 【手術後】 目標 痛みが最小限で過ごすことができる 手術について理解し、準備が整っている 発熱がない ・血尿による管の閉塞がなく経過する 安心して手術に臨むことができる ・尿漏れがある場合対処できる 月 日 創部の異常がない 食事は食べられます 21時より禁食 時以降飲水禁止 飲食禁止 許可がでたら飲水出来ます 食事 退院後の治療計画 許可がでたら食事を開始します 手術室には歩いて 帰室直後はベッド上で安静が必要です 行きます 歩行許可が出たら、頑張って歩きましょう □旭川赤十字病院泌尿器科 安静度 制限はありません 許可がでたらベッド上で座ります 歩けない方は 外来にて通院治療を行います 状況に応じて病室内の歩行から始めます ストレッチャーで 初回は看護師が付き添い歩行します 行きます 口その他 手術前に座薬を 許可がでたら尿の管を抜きます(抜く際に検査が必要となることがあります) 手術後は尿の管が入ります 排泄 使用します 毎回、尿量と尿漏れの量を測定します 身体を拭き 清潔 背中の痛み止めの管が抜けるとシャワー浴ができます シャワー浴ができます 退院後の療養上の留意点 着替えます 手術後、点滴をします 内服中の薬を確認します 手術後、背中に痛み止めの ★持参された内服薬は医師の指示で再開します 細い管が入ることがあります 生活の制限はありません 服薬指導 点滴 必要に応じ痛み止めの内服薬を処方します ★痛い時は注射や座薬を 薬剤師より薬の説明があります 下記の場合、泌尿器科外来 ★背中の痛み止めの細い管を抜きます (休日・夜間は救急外来)にご連絡下さい 使います 必要に応じて受診していただきます 手術後、採血があります ▶38°C以上の発熱がある 手術後酸素吸入を行います ▶強い痛みが続く 採血が 尿の管を抜いた後、尿が漏れること 検査 ▶濃い血尿が続く あります 採血があります があります 心電図モニターを装着します ▶尿が出ず、腹が張る 処置 パットを当て対処しましょう 血栓予防のための器械が The state of the s 足についてきます (歩行できるようになったら 除去します) 退院後必要となる ・看護師より入院・手術について 保健医療サービス又は福祉サービス ★痛みや尿の管の違和感、吐き気など我慢せずに看護師知らせましょう ≪手術に行く前に≫ 説明があります 貴重品は金庫またはご家族で保管してください 麻酔医による説明があります ・メガネ、入れ歯、指輪、カツラ等は必ず外します (家族の方は同席して下さい) ・リンパ浮腫について、看護師より説明があります (補聴器はつけたままで構いません) 必要に応じて栄養相談があります ・手術当日はひげを剃って下さい。お化粧はできません 肛門を引き締める運動を行いましょう 説明 ・マニキュア・ペディキュアは除去して下さい ・心配事や眠れない時は看護師に 知らせましょう □ 特にありません 手術について理解しましょう ・退院後の生活について看護師より説明があります ご家族は手術後に医師から説明があります 不安なく手術が受けられるように (電話で説明する場合もあります) ※次回の外来受診時に病理組織の説明があります 休みましょう ・手術後は術後管理のため、ICUに入室する場合があります 今後の治療の説明をします 特別な栄養管理の必要性(有)・無 備考 〈手術に必要なもの〉 ・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります その他 ・テープ止めタイプオムツ 1枚 ★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください ・手術後、尿漏れの状況により 尿とりパッドを使用します 手術までの期間で、骨盤底筋体操を しましょう

★状況に応じて予定が変更になることがあります

主治医:

EΠ

主治医署名

主治医以外の担当者 看護師:

※主治医の押印がある場合は不要

<u>薬剤師:</u> 栄養士: